

# 豊かに安心して 暮らせるまち酒田を 創る



令和6年度 酒田市当初予算(案)概要

令和6年2月14日 酒田市

# I. 予算編成の基本的な考え方

酒田市総合計画後期計画に掲げる「めざすまちの姿」の実現に向け、令和6年度は、次の4項目を「重点化する取組み」として予算を編成

1. **市民所得の向上**を図り、人口減少をできる限り緩やかに

---

2. 働きたいと考える全ての市民が**働くことのできる環境**の整備

---

3. 人口が減少しても、**豊かに安心して暮らせる**まちに

---

4. **市民の幸せ（ウェルビーイング）**を実現する酒田市役所

---

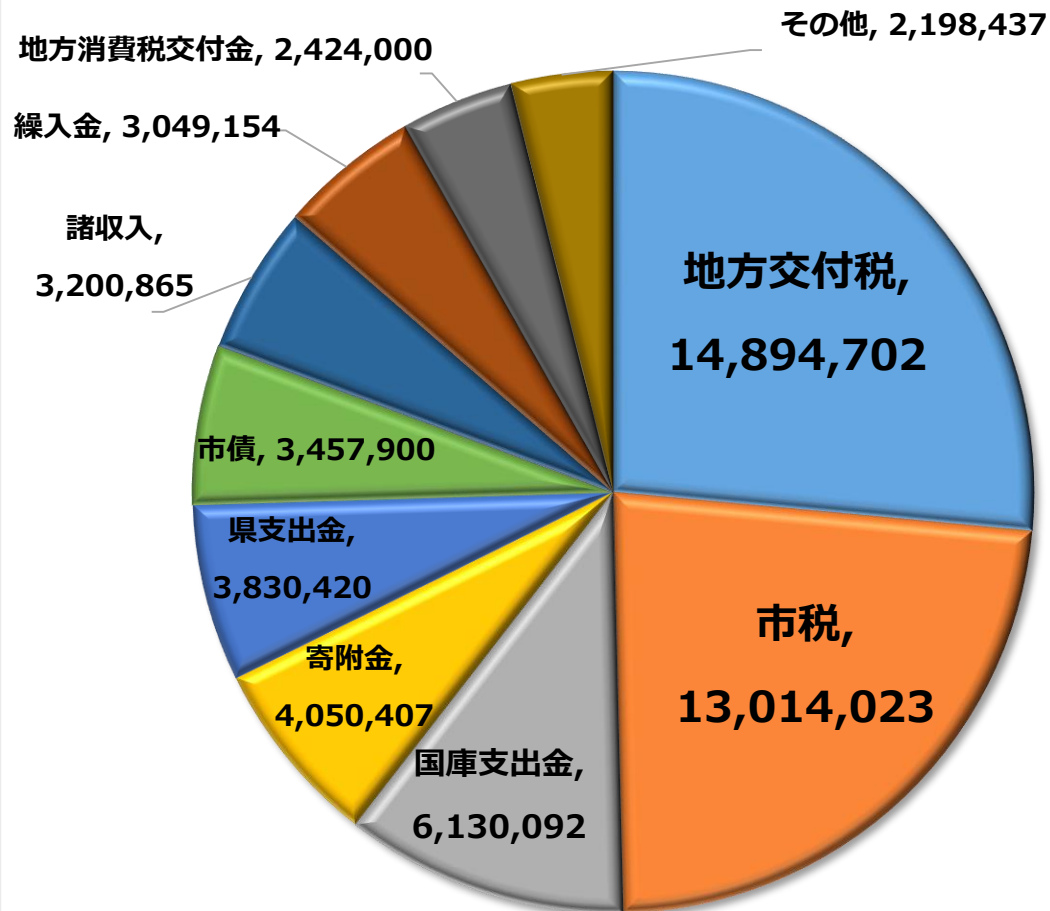


# Ⅱ. 当初予算の概要

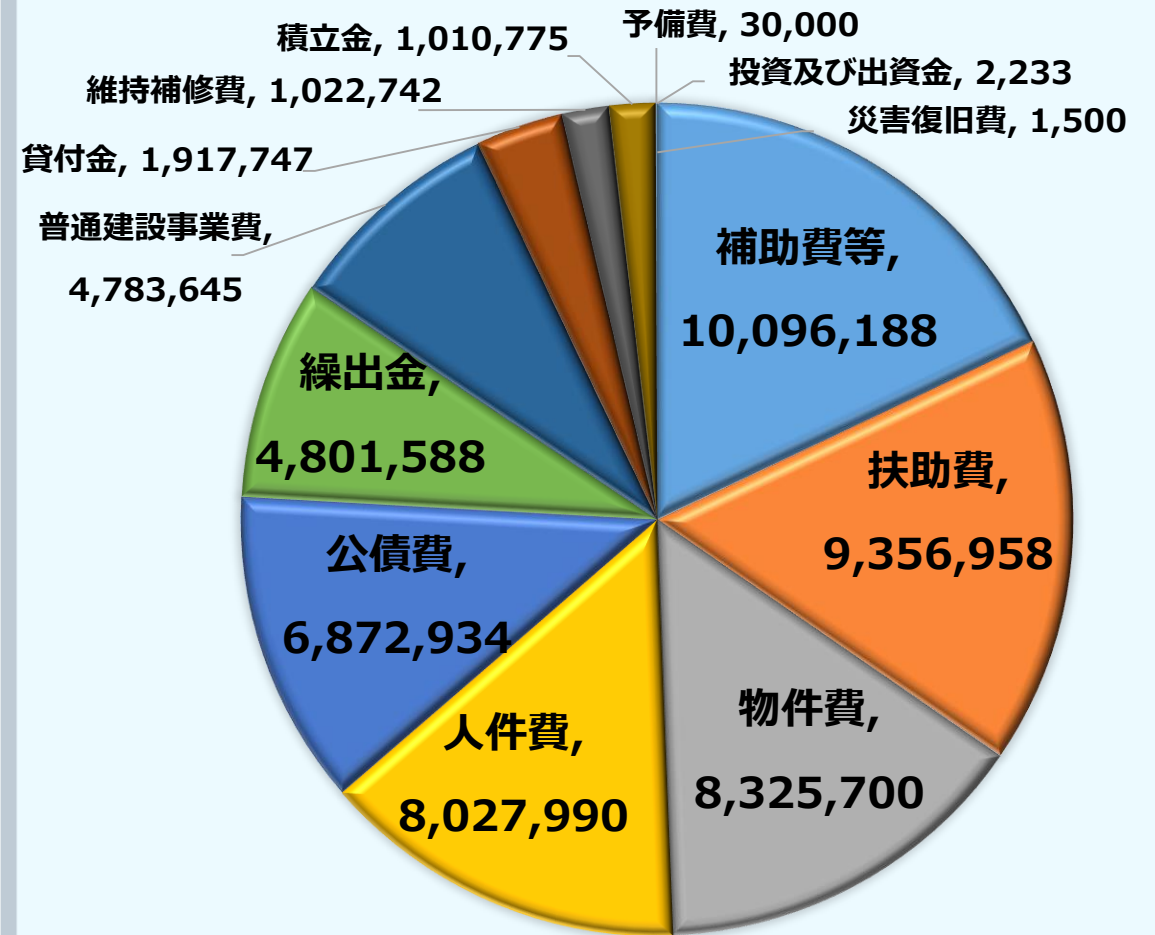
## 当初予算額 562.5 億円

(表単位：千円)

### 歳入



### 歳出



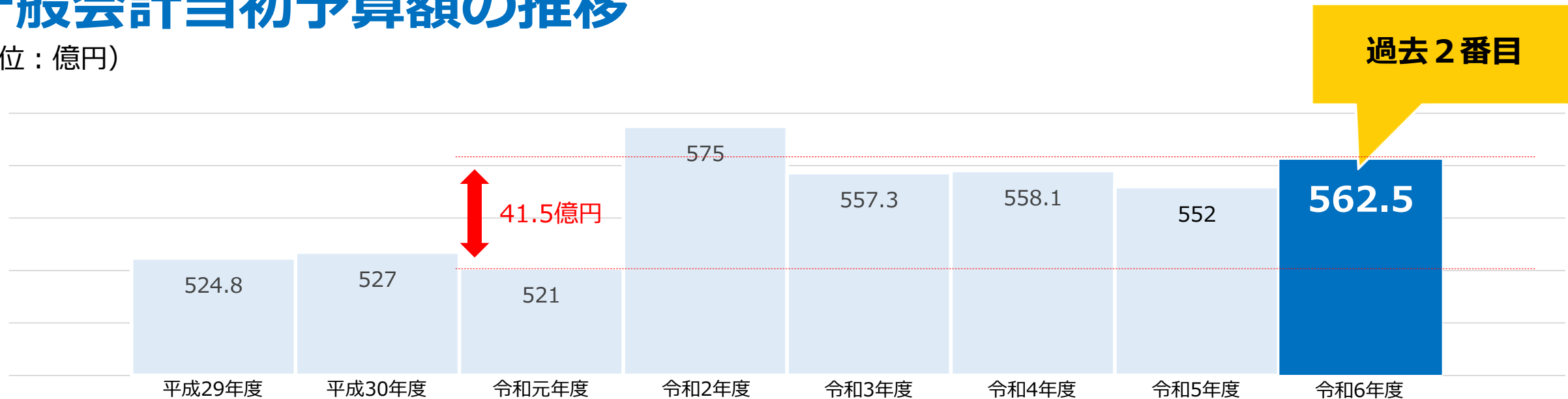
## Ⅲ. 予算の比較・推移

### 当初予算額の比較

会計	令和6年度	令和5年度	比較（対令和5年度比）	
一般会計	562億5,000万円	552億 円	+ 10億5,000万円	+ 1.9%
特別会計	261億8,442万円	257億6,461万円	+ 4億1,981万円	+ 1.6%
合計	824億3,442万円	809億6,461万円	+ 14億6,981万円	+ 1.8%

### 一般会計当初予算額の推移

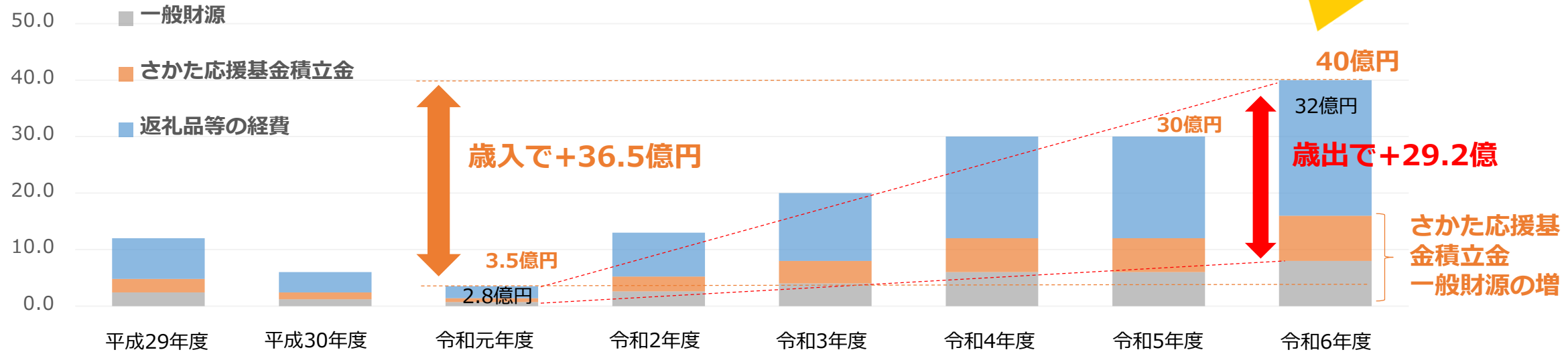
(単位：億円)



# Ⅲ. 予算の比較・推移

## ふるさと納税寄附金の当初予算推移

(単位：億円)



### ○その他の歳出の主な増要因（コロナ禍前との比較）

- ・ ミライニの管理委託料など新規業務委託（+5.5億円）、光熱水費、物価高騰などによる委託料の増（+7.9億円）、施設修繕料や維持補修費の増（+3.6億円）
- ・ 酒田地区広域行政組合、法人保育園などに対する補助費等の増（+3億円）
- ・ 扶助費の増（+2億円）

## IV.総合計画の予算額

章	政 策	予算額 (千円)
1 未来を担う人材が豊富な酒田	1 市民参加があふれ、協働が広がる公益のまち	110,620
	2 大学・高校とともに作る「ひと」と「まち」	21,461
	3 公益の心を持ち明日をひらく子どもたちを育むまち	2,194,347
	4 学びあい、地域とつながる人を育むまち	1,782,431
2 地域経済が活性化し、「働きたい」がかなう酒田	1 地域経済を牽引する商工業が元気なまち	2,146,618
	2 経済と環境の両立により産業競争力が高いまち	62,008
	3 地元でいきいきと働くことができるまち	15,875
	4 夢があり、儲かる農業で豊かなまち	1,093,021
	5 100年続く森林（もり）を造り、活かすまち	306,699
	6 恵み豊かな水産を活かすまち	31,286
3 ファンが多く、移住者・定住者・観光客が増加する酒田	1 未来を支える担い手が増えるまち	57,670
	2 「おもてなし」があふれ、交流でうるおうまち	3,186,632
	3 「港」発の交流で賑わうまち	45,370
4 暮らしと生きがいを共に創り、お互いが支え合う酒田	1 誰もがいきいきと暮らしやすいまち	3,010,763
	2 未来を担う子どもの笑顔があふれるまち	4,684,522
	3 健康でいつまでも活躍できるまち	1,886,552
5 地域のつながりと安全・安心にあふれた暮らしやすい酒田	1 住民と行政の協働による地域運営ができるまち	342,934
	2 「全員参加」でつくる美しいまち	64,220
	3 地域との連携でつくる安全・安心なまち	958,840
	4 「暮らしの足」が維持されるまち	178,287
	5 自然環境、歴史、文化、産業で多様性を広げるまち（八幡、松山、平田地域と飛島）	46,233
6 都市機能が強化され、賑わう酒田	1 高速交通ネットワークを実現し、ひと・もの・情報が集い、魅力と賑わいを創出するまち	327,505
	2 将来にわたり快適に利用できる生活インフラが整備されているまち	1,693,856
7 健全な行政経営を推進する酒田	1 質の高い行政サービスが持続的に提供されるまち	433,985
総 計		24,681,735

## V. 予算の傾向

### ○ふるさと納税寄附金の増加

- ・ 予算上の寄附総額を30億円から40億円に増額  
(令和6年1月末実績約39億8千万円)
- ・ 好調なふるさと納税をさらに推進

### ○新規事業の実施・事業の拡充など

- ・ 新規事業（14事業）、拡充事業（28事業）を実施  
※別添「令和6年度 当初予算記者会見資料」参照
- ・ 人件費、物価高騰などによる修繕料、委託料の増額分を計上

### ○公債費の削減

- ・ 76.5億円から68.7億円に減少
- ・ 利子償還分は金利の上昇により増加するものの、元金償還分は約8億円減少

## VI. 主な事業

# 「重点化する取組み」の主な事業



# 1. 市民所得の向上を図り、人口減少をできる限り緩やかに

- ・産業を振興し若い人が就きたいと思うような仕事を創出する取組み
- ・観光や輸出など「外貨」を獲得するための取組み
- ・ローカルSDGsに資する取組み
- ・産業の基盤となるインフラ整備の取組み など

## 賃借型立地企業定着促進事業（商工港湾課）31,070千円

市の誘致により市内の賃借物件において操業を開始した市外企業に対し、その賃借料及び改装費用の一部を助成する。

**【拡充】** I T企業の集積に向け、中心市街地エリアで賃借して立地するI T企業に対しては助成期間を3年から5年に延長する。

【既存事業】 I T教育強化、公益大のI T教育支援、サンロクI T女子支援 → **I T分野へ注力**

## 酒田市東京拠点運営事業（商工港湾課）4,841千円

**【新規】** 首都圏において外貨を稼ぐ市外需要の掘り起こしを行うため、SHIBUYA QWS（渋谷キューズ）を拠点に職員を配置する。



# 1. 市民所得の向上を図り、人口減少をできる限り緩やかに

## スマートオーガニック推進事業（農政課）8,000千円

【新規】国が策定したみどりの食料システム戦略を踏まえ、市はオーガニックビレッジ宣言を行い、農業者が化学肥料・化学合成農薬の使用低減等に取り組みやすい環境を整備する。

## 異常気象対応営農支援事業（農政課）3,000千円

【新規】近年の異常気象が多発している状況下において、園芸農業の安定的な営農を継続するため、農業気象災害に対応する設備等導入に対して支援する。

## 酒田移住交流推進事業（市長公室）22,522千円

移住のためのワンストップ窓口の継続、移住先としての認知度向上のための情報発信、移住お試し住宅の管理運営、移住される方への各種支援を実施する。

【拡充】県外の潜在的にUターンを希望する世帯の酒田市出身でない配偶者にターゲットを絞り、酒田の魅力や暮らしやすさを伝える2泊3日の親子着地型ツアーを実施する。

【既存事業】一般財団法人DMOとの連携強化、ジオパーク関連の事業の推進、ローカルSDGsに資する温暖化防止の講演会の実施 など



## 2. 働きたいと考える全ての市民が働くことのできる環境の整備

- ・ 男性だけでなく女性も、高齢者の方も、そして障がいのある方も、外国籍の方も、社会で活躍できるように支援する取組み
- ・ 仕事と家庭の両立を可能にする保育・介護等制度の充実とジェンダー平等意識の啓発の取組み など

### 人材活躍推進事業（商工港湾課）7,498千円

人口減少が著しく進む中で人材を確保するため、学生向けの企業見学ツアーなどを実施する。

**【拡充】** 企業向けに若者、高齢者、障がい者、外国人雇用、業務改善などの分野別にセミナーを開催する。

### 男女共同参画推進事業（共生社会課）1,772千円

性別にかかわらず誰もが個性と能力を発揮できる男女共同参画社会を実現するため、男女共同参画の意識啓発活動を実施する。

**【拡充】** 家事シェア推進月間を設定し、市民参加型の家事シェアチェック宣言による意識啓発を行い、参加者の中から抽選で家事代行サービスお試しクーポンを交付する。

### 【再掲】酒田移住交流推進事業（市長公室）22,522千円

移住のためのワンストップ窓口の継続、移住先としての認知度向上のための情報発信、移住お試し住宅の管理運営、移住される方への各種支援を実施する。

**【拡充】** 県外の潜在的にUターンを希望する世帯の酒田市出身でない配偶者にターゲットを絞り、酒田の魅力や暮らしやすさを伝える2泊3日の親子着地型ツアーを実施する。

**【既存事業】** メタバーズ婚活の取組みへの参加 など



### 3. 人口が減少しても、豊かに安心して暮らせるまちに

- ・子育て、教育、医療、福祉、介護、環境、防災、上下水道、生活道路などあらゆる面から人口が減少しても安心して地域コミュニティで暮らせる仕組みを整える

#### こどもの生活・学習支援事業（こども未来課）4,775千円

経済的課題を抱えるひとり親家庭等のこどもに対して学習支援教室の開催、受験費用等の助成などの支援を行う。

**【拡充】** 大学等受験生支援事業（上限10万円）を企画調整課から移管するとともに、児童扶養手当受給世帯相当又は低所得子育て世帯（住民税非課税世帯）を対象として新たに高校3年生8千円、中学3年生6千円の模試費用を助成する。

#### 通学・校外学習等対策事業（学校教育課）237,148千円

酒田市スクールバス運行基準に該当する児童生徒の通学のため、スクールバスの運行・管理を行う。

**【拡充】** 冬期間だけ運行しているスクールバスを猛暑対策として盛夏期も運行する。

#### 医療・介護DX連携推進事業（健康課）18,193千円

**【新規】** 地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構のDXを活用した取組みに対し負担金を支出する。



### 3. 人口が減少しても、豊かに安心して暮らせるまちに

#### 地域福祉推進事業（地域福祉課）2,616千円

地域社会の新たな課題に対応し、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる地域社会を実現するため、幅広い市民参加による地域福祉活動を推進する。

【**拡充**】相談支援、居場所づくり等を実施するひきこもり支援団体に対し補助金を交付する。

#### 環境対策事業（環境衛生課）11,353千円

環境審議会の運営、公害防止協定に基づく環境調査、野生鳥獣対策、猛禽類保護センター活用協議会への負担金支出などを行う。

【**拡充**】クマ等の有害鳥獣の捕獲体制を強化するため、狩猟免許の取得費用等を助成（9万8千円×10人分）する。

#### 光ヶ丘野球場改修事業（スポーツ振興課）40,467千円

【**新規**】光ヶ丘野球場の建物内部への漏水を解消するため、スタンドの防水改修工事を行うとともに、野球場・屋内練習場の改修に係る設計（人工芝整備等）を実施する。

#### 文化資料館管理運営事業（文化政策課）4,836千円

【**新規**】令和6年5月中旬にオープンを予定している文化資料館光丘文庫の開館準備及び管理運営を行う。

【**既存事業**】犯罪被害者等支援制度の創設、駅東広場の整備 など



## 4. 市民の幸せ（ウェルビーイング）を実現する酒田市役所

- ・これまで十分には反映されてこなかった若者、女性、障がい者等の意見を政策に反映するための取組み
- ・「あるものを生かす」「庄内全域で考える」という発想に立った各種取組み など

### シティプロモーション推進事業（市長公室）93,498千円

広報紙、ホームページ等による行政情報の提供と、市政への広聴活動を行う。

**【拡充】**シティプロモーションの視点を取り入れた広報・広聴活動を展開していくため、専門副業人材を活用する。

- ・令和5年度～ 若者カフェミーティングの実施
- ・3月補正繰越明許費 フロントヤード改革事業総務省のモデル事業として窓口業務の改革に取り組み、令和6年度中に一部手続き等について実証を実施

**【既存事業】**若者を支援するコミュニティファンドの創設、コンビニ交付手数料の引き下げ、さかたコンポの追加機能の開発 など



人口減少をできる限り抑制しながら  
豊かに安心して暮らすことのできるまちへ

